

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、28～30℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが1日1統当たり22トンの水揚げで、前週の69%（前年を上回った）。五島奈留地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり4トンの水揚げ。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり1kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり233kgの水揚げで、前週の32%（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり62kgの水揚げで、前週の52%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり4.2トンの水揚げで、前週の46%（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり98kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。
- 定置網――五島有川地区では、ムツなどが1日1統当たり50kgの水揚げ。対馬西岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり98kgの水揚げ。対馬東岸地区では、カンパチなどが1日1統当たり204kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり14kgの水揚げで、前週の22%（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

沖合イカ釣り 鳥取県（8/20～8/24）

沖合船（船凍船）は、太平洋公海域のアカイカ（ムラサキイカ）漁に引き続き全船が出漁中。

沿岸船（氷蔵船）は、壱岐・対馬沖、山口沖、山陰沖、能登半島沖、佐渡沖で操業。

沖合いか釣（鳥取県西部・19トン小型船）は、入港船延6隻がスルメイカ162箱、ケンサキイカ874箱、合計1,036箱を、1航海最高294箱、平均172.7箱の水揚げ。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第8-14号 小トビ（トビウオ未成魚）飛翔目視調査結果」を発表しました。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「組織で探す⇒研究機関等⇒総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp>